



判定結果通知書

平成22年3月16日

榛東村教育委員会
教育長 尾崎 重美 様

一般財団法人
群馬県建築構造技術センター
理事長 江守 克彦



建築物耐震診断判定委員会
委員長 壁谷澤 寿海



平成22年1月5日受付の下記物件の一般財団法人群馬県建築構造技術センター建築物耐震診断判定委員会による判定は、次のとおりです。

建築物名称	榛東村立北幼稚園
建築物所在地	北群馬郡榛東村大字山子田1322-1
耐震診断発注者	榛東村長 真塩 卓
耐震診断判定	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">1 次 診 断</div> 耐震診断報告書の内容は妥当であり、本建築物の耐震性能は高いと思います。 但し、コンクリートブロック壁は補修又は補強等が必要です。
耐震診断設計者	株式会社亦野建築設計事務所 相場 昭伸
摘 要	建設年度 S53 年度 構造 RC 造 階 数 地上1階 地下一階 面 積 559.48 m ²

平成21年度第9回 第09-255号議案

(耐震診断) RC1次診断

榛東村立北幼稚園耐震診断業務委託

報 告 書

施設名称 榛東村立北幼稚園

受託事務所 前橋市下小出町二丁目9番17号
株式会社 亦野建築設計事務所
代表取締役 亦野 高裕

診断担当者 相場 昭伸
一級建築士登録第275447号

1. 診断者	(1) 名称・連絡先・資格		氏名	相場 昭伸	会社名	(株) 亦野建築設計事務所	電話	027-231-9759		
	(2) 協力事務所情報		一級建築士番号	第275447号	講習会受講終了番号	06-06-1001(日本建築防災協会)				
2. 建物概要	(1) 建物名称		榛東村立北幼稚園							
	(2) 構造・規模		鉄筋コンクリート造 地上 1階、地下 -1階、PH -1階							
	(3) 建築年月		昭和 53年 月～昭和 54年 3月 昭和 54年 3月 竣工							
	(4) 面積		延床面積: 559.48 m ² 1階床面積または建築面積: 559.48 m ²							
	(5) 階高・軒高		1階 3.2m 2階 3階 4階 軒高 3.8 m							
	(6) 桁行×張間、全長:m (桁行スパン×張間スパン:m)		38.20× 30.20 (7.50× 8.50)				同左スパン数		8 × 6	
	(7) 地盤及び地盤種別		表層		不明		支持層		不明	
	(8) 基礎		直接基礎(長期 kN/m ²) 杭基礎(杭種:RC杭 杭径: 350φ 杭長: 3600mm 杭耐力: 不明 kN/本)							
	(9) 構造上の特徴		平面(ほぼ整形 ・ 不整形) 立面(ほぼ整形 ・ 不整形) 構造形式 (両方向ラーメン構造) 極脆性柱(有・無), 下階壁抜(有・無), 平面柱抜(有・無), Pca屋根(有・無) 複合構造(有・無), ゴーニング(有・無) その他 ()							
3. 現地調査結果及び材料強度	(1) コンクリート	階	設計基準強度	平均圧縮強度	標準偏差	診断採用強度				
		3								
		2								
		1	20.6N/mm ²	39.5N/mm ²	5.4N/mm ²	25.7N/mm ²				
	(2) 鉄筋	診断採用降伏点強度 主筋 : SD30 $\sigma_y = 344 \text{ N/mm}^2$ 帯筋・壁筋: SD30 $\sigma_y = 344 \text{ N/mm}^2$ 主筋径: D22 帯筋径: D10 帯筋間隔: 100@								
	(3) 中性化深さ	平均深さ 0.0 mm 最大深さ 0.0 mm (仕上げの有無: 有 無)								
(4) 経年指標	T=0.80 (理由: 建築年数30年以上)									
(5) その他										
4. 使用プログラム	(1) 使用プログラム		SCREEN-1*2 ver.3.0.1.2(ニューテック研究会)					(評価の有無: 有 無)		
5. 判定指標値	(1) Is 指標値		Is ≥ 0.80							
6. 既存建物のIs指標値	方向	階	1次診断			決定要因				
			E0	SD	Is					
	[A ランク]	X方向 (桁行方向)	4							
			3							
			2							
			1	1.56	0.90	1.13	極短柱で決定			
			1	4.38	0.90	3.15	極短柱は存在しない			
	[A ランク]	Y方向 (張間方向)	4							
			3							
			2							
			1	4.38	0.90	3.15	極短柱は存在しない			
			1	4.38	0.90	3.15	極短柱は存在しない			
	(1) 診断結果概要	X方向(桁行方向): 耐震壁があり、構造耐震指標値は耐震判定指標値を上回り、耐震性能は高い。 耐震性能ランクはA (A 1) と診断され、耐震性能は高いと思います。								
Y方向(張間方向): 耐震壁が多く、構造耐震指標値は耐震判定指標値を上回り、耐震性能は高い。 耐震性能ランクはA (A 1) と診断され、耐震性能は高いと思います。										
その他: コンクリートブロック壁は、改修する必要があります。										
(2) 仮定条件・モデル化等	耐震診断は第1次診断法により検討を行う。									
	外力分布による補正係数はAiを使用する。									
	コンクリートブロック (A種・t=150) は剛性、耐力を無視し、荷重のみ考慮する。									
7. 所見	(1) 現地調査について		設計図との照合を行ったところ、特に著しい相違は見られない。 現地は平坦地で特に地形による補正は行わない。							
	(2) その他		構造の影響をおよぼす大きな改修は特に見受けられない。 不同沈下等による亀裂は特に見られない。							